

BrightSign オプションモジュールキット

ロータリーボタン 0-100

取扱説明書



V1.0

目次

1 はじめに	3
1-1 付属品	3
1-2 対応機種	3
1-3 機器の接続	3
2 ロータリーボタンの検知情報	4
2-1 シリアル通信の設定	4
2-2 ロータリーボタンのシリアルコマンド	4
3 制御コマンド	5

1 はじめに

BrightSign オプションモジュールキット ロータリーボタン 0-100 は BrightSign のオプション製品です。ボタンを左右に回転させるとボタンの位置に応じたシリアルコマンドを出力します。

1-1 付属品

製品には以下が付属します。

・ロータリーボタン 0-100	1 個
・アナログインターフェース	1 個
・XN-115 コントローラー	1 個
・USB ケーブル	1 本

1-2 対応機種

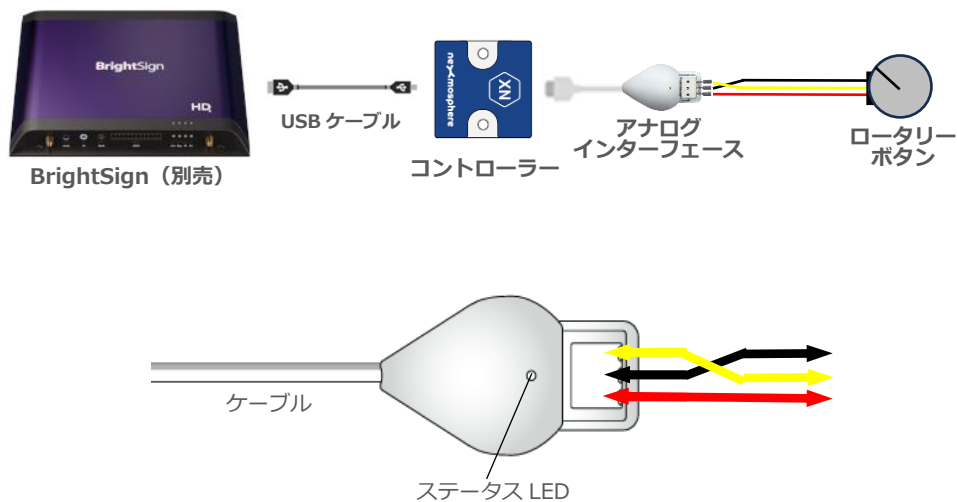
ロータリーボタンは USB ポートを持つ BrightSign に対応します。

【対応機種】

BS/XC4055、BS/XC4055W、BS/XC2055、BS/XC2055W、BS/XT2145、BS/XT2145W、BS/XT1145、BS/XT1145W、BS/XD1035、BS/XD1035W、BS/HD1025、BS/HD1025W、BS/XT1144、BS/XT1144W、BS/XD1034、BS/XD1034W、BS/HD1024、BS/HD1024W、BS/BF15WT4、BS/BF10WT4 ロータリー

1-3 機器の接続

コントローラーの Mini USB ポートにアナログインターフェースを接続し、アナログインターフェースにロータリーボタンを接続します。アナログインターフェースのステータス LED を上、ケーブルを左にした場合、ロータリーボタンのコネクタを上から黄、黒、赤の順にアナログインターフェースに接続します。コントローラーと BrightSign は付属の USB ケーブルで接続します。



2 ロータリーボタンの検知情報

ロータリーボタンを左右に回すとボタンの位置に応じたシリアルコマンドが出力されます。BrightSign のコンテンツの切り替えやボリュームの増減に使用することができます。

2-1 シリアル通信の設定

BrightAuthor:connected でプレゼンテーションを作成する際は、はじめにシリアル通信の設定が必要です。**レイアウト > プレゼンテーション設定 > インタラクティブ > コネクタ**の順に開き、**シリアル**の設定欄では以下のように設定します。設定に誤りがあると正常に動作しません。

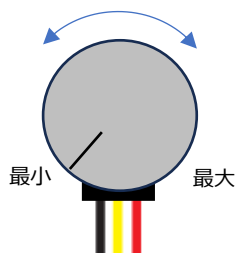
ポート	2
プロトコル	ASCII
ボーレート	115200
データビット	8
パリティ	なし
ストップビット	1
EOL の送信	CR+LF
EOL の受信	CR+LF

2-2 ロータリーボタンのシリアルコマンド

ロータリーボタンを回すと回路内の電圧レベルが変化します。アナログインターフェースがアナログの電圧レベルを 0~1023 のデジタル値に変換 (AD 変換) し、0~1023 の値を 00~20 の 21 段階に分類して段階に応じたシリアルコマンドを出力します。

出力されるコマンド	X の値
X001B[Dr=XX]	00~20

ロータリーボタンを最小の近くまで回すとシリアルコマンド **X001B[Dr=00]**が出力されます。ボタンを右に回していくと **X001B[Dr=01]**、**X001B[Dr=02]**、**X001B[Dr=03]**と出力され、最大の近くまで回すと **X001B[Dr=20]**が出力されます。但しプレゼンテーションの再生を開始した際にはコマンドは出力されません。ボタンの位置が最小の状態でプレゼンテーションを開始しても **X001B[Dr=00]**は出力されず、ボタンを回しても 00 の範囲ではコマンドを出力しません。



3 制御コマンド

BrightSign からシリアルコマンドを送信してアナログインターフェースのステータス LED の挙動を変更することができます。設定はコントローラーの電源がオフになると初期化されるため、BrightSign の起動時に都度コマンドが送信されるように設定する必要があります。制御コマンドの送信方法については、別紙『BrightSign オプションモジュールキット取扱説明書』をご参照ください。

ステータス LED

ステータス LED（緑色）の動作を設定します。

設定内容	コマンド
LED を常に ON	X001S[1:1]
LED を常に OFF	X001S[1:2]
通常時 ON、コマンドを送ると点滅	X001S[1:3]
通常時 OFF、コマンドを送ると点滅	X001S[1:4]

※初期設定では「常時 ON、検知すると点滅」で動作します。